

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することについて、全国を上回る平均正答率でした。その他にも、資料を用いて話す目的を理解することや文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることについても、全国を上回る平均正答率でした。授業の中で、言葉や経験、資料を根拠にして、思いや考えを交流する授業や、内容理解だけでなく、構造理解（何が書いてあるかだけでなく、どう書いてあるか）を大切にした授業の実践を積み重ねてきました。それらの学習活動を通じて培った力が結果に表れてきたものと思われまます。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、肯定的な回答をした児童が約78%と、昨年度の岡山学力アセスの調査と比較して5ポイント上昇していました。これは、家庭学習の目的や意図を児童や保護者に伝える取組の成果が徐々に表れているためと思われまます。

課題と対応

算数では、量についての基本的な性質を基に、複数の図形の面積を比べることや、求め方を説明することについて正答率が低く課題が見られました。そこで、算数のみならず、筋道を立てて考える場や様々な方法で考える場を意図的に設定したいと考えています。日々の授業の中で、自分の考えをもち、自分の考えを基にして交流し合う場面を計画したり、家庭学習を利用し自主学習で考え方等を表す学習を大切にしたりしていきたいと考えまます。

質問紙調査の結果から、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている」「1日30分以上読書をする」という質問に対し、否定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことが分かりました。学校でも読書の楽しさを感じられる指導を行うとともに、中学校区で行っているオフメディアの取組の充実を図りたいと考えています。また、メディアリテラシーと共にネットモラルについても重点的に指導していきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

今年度も各学年の実態に合わせた「自主学習とことん週間」の取組を進めています。メディアに関する各家庭でのルールをお子さんと一緒に確認し、オフメディアで生み出された時間を、自主学習や読書に充てるなどの声かけをしたり、家族で一緒に過ごす時間を見直したりしていただければと思います。

中学校区では「はきものそろえ・あいさつ」を大切にしています。「はきものをそろえると心もそろろう・あいさつは心をつなぐ」を合言葉に学校でも意識付けをしていきたいと思いまますので、ご家庭でも声かけや実践をお願いします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	目的や必要に応じて書いたり、漢字や文末に気を付けて書くことができる。
	社会	岡山市の地図から情報を読み取ることができる。
	算数	小数の計算を正確にすることができる。
	理科	身近な自然について観察の仕方や表現方法について理解している。
	学習状況	読書が好きな児童が多く、約半数の児童が毎日30分以上読書している。
第5学年	国語	第4学年配当漢字を正しく書けており、主語と述語について理解している。
	社会	都道府県の名称や主な特産物について理解している。
	算数	直方体の構成要素について理解している。
	理科	動物の体について、関節や筋肉の様子について理解している。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて学習をしている児童の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	段落相互の関係に着目しながら叙述を基に問いの段落を捉えることに課題がある。	<p>国語では、叙述をもとに段落文の内容を正しく読み取ること、社会や算数では、学習した知識を正しく活用すること、理科では、複数の事象を比較したり関係づけたりして表現することに課題がある。</p> <p>今後も各教科の基礎基本の定着を図るとともに、獲得した知識を基に、多面的な理解を図ったり知識を正しく活用したりする機会を授業の中に設定していきたい。具体的には、話合いの焦点を絞ることで、叙述や獲得した知識を根拠に、考えを比べたり関連付けたりし、推測したり多角的・多面的に思考したりすることができるようにしていく。</p> <p>学習状況についても、授業での振り返りを大切に行い、児童が家庭でも主体的に復習や発展学習を行うことができるような課題を設定するなどの授業改善を図っていく。また、既習事項の定着や、次の授業につながる学習内容を予想させるような課題を設定し自主学習の取組がより一層充実するようにしていきたい。</p>
	社会	市の様子の移り変わりについて資料から情報を読み取り表現することに課題がある。	
	算数	長さやかさ、重さを表す単位や単位の意味を理解することに課題がある。	
	理科	実験の仕方や結果から体積と重さの関係を推測することに課題がある。	
	学習状況	授業や家庭学習において、学習内容の振り返りや自主的な調べ学習は十分ではない状況が見られる。	
第5学年	国語	段落相互の関係や指示語などの叙述を基に説明文の内容を読み取ることに課題がある。	<p>国語では、文章を構造的に捉えて読むこと、算数や理科では、基礎的な知識を基に多様な方法で考えることに課題がある。</p> <p>改善策としては、接続語や指示語に着目し、文章を構造的に捉えたり要旨をまとめたりする活動を必要に応じて取り入れていきたい。また、授業の振り返りを大切にし、分かったことを自分の言葉でまとめたり、多様な方法で問題を解決する場面を設定したりしていく。5年生の総合的な学習の時間では、防災について4年生の社会科で学んだことを生かして学習を深めたり自分たちの学区や地域に当てはめて考えたりするなど、自分事として考えられるように授業改善を図っていきたい。</p> <p>学習状況については、図書館の活用を通して読書の楽しさを感じられる指導を行ったり、児童が主体的に本に親しめるような言語活動の充実や単元構想の工夫をしたりしていきたい。</p>
	社会	災害への取組について、関係機関の取組等について総合的に理解することに課題がある。	
	算数	多様な考え方で課題を解決すること、きまりを使って計算することに課題がある。	
	理科	動物が体を動かす仕組みを説明することに課題がある。	
	学習状況	読書が好きな児童の割合は低い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

灘崎小学校では、自分で計画を立てて学習する習慣が身に付いている児童が増えてきました。その一方で、進んで読書をしたり、オフメディアの意識をもって生活しようとしたりする意識が十分でない面も見られます。引き続き、オフメディアウィーク等を活用し、オフメディアで生み出された時間を、自主学習や読書に充てるなどの声掛けをしたり、家族で過ごす時間を見直したりしていただければと思います。